

妙安寺だより 316

テレフォン法話 092-751-6

084 (毎週月曜日に話が変わります)

〔 方便品 第二の解説 ④ 〕

【 と 】

お釈迦様は、あらゆるものの真実を知る法を教えられました。

それは、方法は因果の理法によって存在し、善因はを、悪因はを生む不変の道理のもとにおかれているので、かれとこれとにはそれぞれに、そのもの自体のがあり、性質があり、体(本質)があり、内に潜んでいる力、外に働く、内に因があれば外にこれをける縁があり、因に相応してあらわれる果には、縁がもたらずが加わり、これらの「相」「性」「体」「力」「作」「因」「縁」「果」「報」は、初めから終わりまで等しく関連しあっているの姿(「等」)は、決して相違するものではありません。これを「十如是」といいます。

お釈迦様は、このあらゆるものの真実の姿を見きわめる教えを三度繰り返された後、「仏の心とは、迷いと悟りを別々にしたり対立させないで、それを二つながら一緒に心の中にきながら、すべての苦しみをなくし、仏になるよう願い求めるしみの心なのだ」と語られました。

生きとし生ける者は、みんな種々な心を持っています。自分の思うようにならないために起こす怒りは地獄の心です。むさぼりはの心、本能のままに的に行動するかな心はの姿、争いやへつらいの心はの姿、心がいつもゆれ動きながら善も悪も行なうのが人間の心、をむさぼり、よろこぶのはの心であり、こうした地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の心は迷いの世界を現しています。()

それが、仏の教えを聞いて悟りを求めるのがの心であり、様々な縁にふれて自分のをなくして悟りを聞こうとするのがの心であり、仏の教えにしたがい、身を捧げて人々のためにつくすのがの心です。

その最高のが大いなるをそそぐのが仏の心なのです。() これを「十界」といいます。

平成23年度 地涌の声の功德主 募集

毎月、妙安寺だよりと共に同封しております「地涌の声」の功德主を募集しております。

希望の月をお知らせください。(同じ月が重なった場合は、申し込み順によります)

功德主料は、ひと月 5,000円です。(2月・3月・4月・5月は申し込み済み)

